

8. 独立行政法人 建築研究所講演会

期 間 : 平成25年3月8日(金) 10時30分～16時45分
 会 場 : 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11階)
 主 催 : 独立行政法人 建築研究所
 聴講者数 : 513名

プログラム

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| ●理事長挨拶 | 10:35～ 建築研究所 理事長 坂本 雄三 |
| ○東日本大震災後の住宅復興の取組とその課題 | 10:40～ 住宅・都市研究グループ 上席研究員 岩田 司 |
| ○安政江戸地震による建造物被災分布の特徴 | 11:10～ 特別客員研究員 都司 嘉宣 |
| | 11:55～ パネル展示の紹介 |
| | 12:10～ 昼休み パネル展示 |
| ○住宅・建築の更なる省エネルギー化 | 13:30～ 環境研究グループ 上席研究員 桑沢 保夫 |
| ○大規模木造建築物の防火対策 | 14:00～ 防火研究グループ 上席研究員 萩原 一郎 |
| ○今後期待される構造設計の方向性 | 14:30～ 構造研究グループ長 福山 洋 |
| | 15:00～ 休憩 |
| ●特別講演『想定外の災害を起こさないための哲学』 | 15:15～ 関西大学理事・社会安全研究センター長・教授 |

河田 恵昭

16:45 開会

パネル展示 コアタイム (12:10～13:30)

平成24年5月につくば市で発生した竜巻被害と竜巻発生装置を活用した研究の展開

東日本大震災で被災したRC造建築物にみる偏心の影響

実大火災実験を実施した木造3階建て学校の床衝撃音遮断性能

炎上木造建物から発生する火の粉の加害性

建築材料・部材の物理的耐用年数と資源循環性の評価技術に関する研究

鉄筋コンクリート造建築物のかぶり厚さの確保技術

木材の利用促進に資する木造建築物の中層化に関する研究

建築物の技術基準への適合確認における電子申請等の技術に関する研究

緑のカーテンによる屋内温熱環境改善効果研究

タブレット型情報端末による応急危険度判定支援ツールの開発

借り上げ仮設住宅における入居及び居住の実態

2011年東北地方太平洋沖地震の強震記録におけるSRC造建築物の振動特性の変化

構造研究グループ 主任研究員 喜々津仁密

構造研究グループ 研究員 谷 昌典

環境研究グループ 主任研究員 平光厚雄

防火研究グループ 上席研究員 林 吉彦

材料研究グループ 上席研究員 鹿毛忠継

材料研究グループ 主任研究員 濱崎 仁

建築生産研究グループ 上席研究員 中島史郎

建築生産研究グループ 主任研究員 武藤正樹

住宅・都市研究グループ 上席研究員 加藤真司

住宅・都市研究グループ 主任研究員 石井儀光

住宅・都市研究グループ 研究員 米野史健

国際地震工学センター 上席研究員 森田高市